淀川の環境について学ぶ出前授業

国土交通省の資料や淀川管内河川レンジャー活動の経験を生かして、淀川の環境について地理・歴史・理科・社会を横断的にとらえて説明します。淀川の在来魚を展示し、ペットボトルに入れた4種類の水で守口の水を当ててもらいます。スローロープ投げの実演もします。授業はわかりやすい言葉を用いて、三択クイズも織り混ぜて進めます。そして、地域の子供達が淀川を好きになり、自慢できるように説明します。中学生（大人）向けには文章と一部内容を差し替えています。

1．授業時間　1時限分(45分)　、　2．対　象　小学校4年生　（中学生・大人も可）

授業の構成　（45分）

淀川の環境について

淀川	・流域人口1200万人（水道1600万人） ・三川合流（桂川・宇治川・木津川） ・ゆったり流れる大河	淀川とは？
歴史	・太古は海の中 ・文禄堤(昔の堤防) ・交通（くらわんか舟・蒸気船・電車）	地域の成り立ちを知る
水の利用	・下水道の整備（環境の改善） ・琵琶湖の浄化活動（植林・外来魚駆除） ・上水道（大事に使おう） ・水の循環・再利用 ・水を汚す原因は？	水の大切さ
災害	・淀川決壊 ・台風被害	過去の災害
防災・減災	・河川改修　・ダム ・地下水路　・地下貯水池　・治水公園 ・防災取組（個人・やってますか？） ・ライフジャケット・スローロープ（試用）	地域や自分の対策
生き物	・淀川の在来魚（展示します） ・外来魚の繁殖と害 ・メダカとカダヤシの違い	生き物の大切さ
環境保全	・広域連携での保全活動 （滋賀・京都・奈良・大阪） ・清掃活動 ・外来魚駆除（地引網・釣り） ・イタセンパラ（天然記念物）の再放流 ・自分にできる事は？	自分への気付き

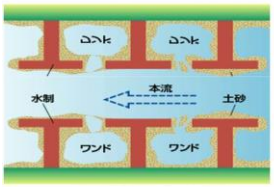
誇れる淀川（大阪）

学科を越えて横断的に勉強

授業の内容　（ﾊﾟﾜｰﾎﾟｲﾝﾄ画面 抜粋）

よど川の水の流れ









ワンドは何個くらい作られたの？

① 50個、 ② 200個、 ③ 500個

答え ③ 500個

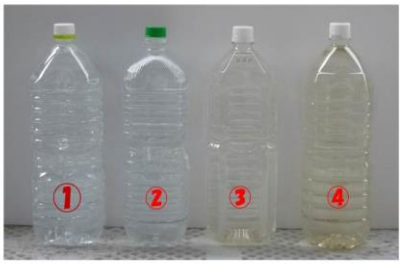
10年で90個に

現在は51個

よど川の水をきれいにするには

山に木を植える(ヨシを植える)
びわこに水草をそだてる
外来魚をくじょする
化学ひりょうを使わない(しぜんにある落ち葉や)
下水しょり場を作る
せいそう活動をみんなでする

守口でよど川から取った水は？



①, ②, ③, ④のどれですか？

よど川の魚



よど川はたくさんの種類の魚がいる

① 大昔(400万年前)にできたびわこ
② 上流のきれいな水に住む魚
③ 海から上がってくる魚
④ 天然記念物の魚(イタセンパラ・アユモドキ)

昔から日本にいる魚 ⇨ 20%

外国から来た魚(外来魚) ⇨ 80%



20年くらい前からめちゃふえた

地下に川を作る

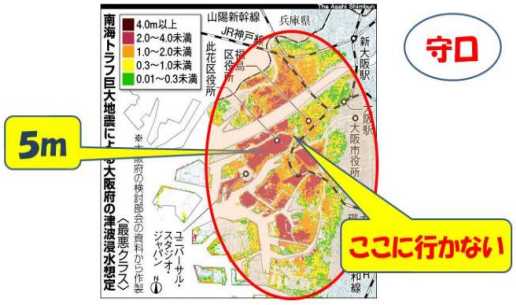
守口の地下に
11km計画



寝屋川北部地下河川(古川調節池)

4km(プール350個分)完成

じしんから2時間後に津波



よど川のじまんできること

1. 水が多くゆったり (上流にびわこがある)
2. 広くて長い かせん公園 がある
3. 昔から重要な川 (大阪と京都を結ぶ交通)
4. れきしがある (ぶんろくつつみ・ワンド)
5. 住んでる人・水道人口が多い ➡ 水を大切に
   1200万人　1600万人
6. 魚の種類が多い (天然記念物イタセンパラ)

みんなが一緒になって環境を良くする取組みをしています